

源関連子会社における原料炭プロジェクトで新規権益を取得したことに伴い、資金が減少したものです。

以上の結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリー・キャッシュ・フローは3,019億円の資金減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動により資金は5,913億円増加しました。これは、親会社において配当金の支払いがあったものの、商品市況上昇に伴う運転資金負担増への対応や、金融不安に対応して前広な資金調達を行ったことにより、資金が増加したものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界的に広がる金融危機の影響により、上場有価証券の評価損の増加、並びに商品市況の下落や円高の進行等による収益悪化が見込まれることから、2008年度の通期見通しを下方修正しております。

	2008年度(予想)	2007年度(実績)	増減
売上高	25兆円	23兆1,030億円	+1兆8,970億円
当期純利益	5,200億円	4,709億円	+491億円

また、通期見通しの前提条件は以下の通りです。

	2008年度(予想)	2007年度(実績)	増減
為替レート	103.1円/米ドル	114.4円/米ドル	△11.3円/米ドル
原油価格	87.6米ドル/BBL	77.4米ドル/BBL	+10.2米ドル/BBL
金利(TIBOR)	0.87%	0.79%	+0.08%

(注意事項)

本資料における業績予想や将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されています。従いまして、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。